

令和 8 年 3 月 3 1 日

東御市議会議長

山崎 康一 様

会 派 名 さわやかな風の会

代表者氏名 長越 修一

令和 7 年度 政務活動費収支報告書

東御市議会政務活動費の交付に関する規則第 7 条の規定により、下記のとおり、
令和 7 年度 政務活動費収支報告書を提出します。

記

交付金額	480, 000	円
支出金額	344, 540	円
差引金額	135, 460	円

(支出の内訳)

(単位：円)

科 目	決 算 額	政務活動費充当額	説 明
調 査 研 究 費	367, 625	338, 525	議会会派行政視察費
研 修 費			
広 報 費			
広 聴 費			
要望・陳情活動費			
会 議 費			
資 料 作 成 費			
資 料 購 入 費	6, 015	6, 015	市議会会議録代
人 件 費			
事 務 所 費			
計	373, 640	344, 540	

(実施事業)

事 業 名	事 業 内 容
視察研修・資料購入	視察研修・定例会会議録購入

政務活動記録簿

会派名	さわやかな風の会
事業名	議会会派行政視察【福岡県 朝倉市・東京都 国会議事堂】
実施日	令和8年3月25日(水)26日(木)27日(金)
参加議員	山崎康一、滝澤栄一、佐藤裕太

1 東御市における課題と研修・調査の目的

【福岡県 朝倉市】

九州北部で発生した豪雨災害について、被害実態や復旧・復興について詳しく調査する

【福岡県 朝倉市 赤谷川周辺】

朝倉市内で発生した豪雨災害について、現地に足を運び、被害の甚大さと復興の状況を確認する

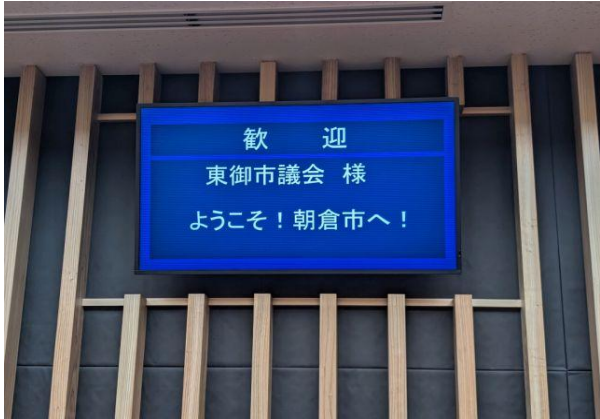
【東京都 国会議事堂】

国会議事堂や衆議院会館について、機能や役割を理解して、地方議員としての活動に活かすため

2 経 費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○)	交通費	新幹線代 (@13,250×3名)	39,750
調査研究費	交通費	しなの鉄道・JR東日本・東京モノ レール・東京メロ	4,920
研 修 費	宿泊費・交通費	航空機往復・福岡泊 68,700円×3名	206,100
広 報 費	宿泊費	東京泊 22,700円×3名	68,100
広 聴 費	レンタカー	2日間	8,600
	ガソリン代	レンタカー	2,595
要請・陳情活動費	高速代	2日間	6,730
会 議 費	駐車場代	レンタカーホテル内	1,500
資料作成費	視察先謝礼	視察先土産代	4,730
資料購入費	保険・手数料	旅行保険代・取扱手数料 (@1,600×3名)	4,800
人 件 費	日当	@2,200×3日×3名	19,800
事 務 所 費	宿泊費調整	東京泊 (13,000円-22,700円)×3名	-29,100
合 計			338,525

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

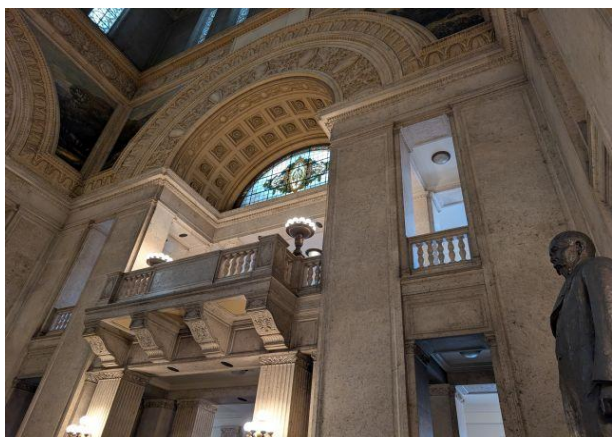
実施日時	令和 8 年 3 月 25 日
視察場所及び 部局等	福岡県 朝倉市役所
視察事項	九州北部豪雨災害の被害実態、復旧・復興について
報 告 内 容	(1) 視察先概要 福岡県朝倉市において、平成29年に発生した九州北部豪雨災害の被害実態、復旧・復興の歩み、そして令和5年豪雨での教訓活用について、朝倉市の防災担当者から詳細な説明を受けた。 災害の規模（時間雨量・累積雨量、土砂・流木の発生量、河川形状の変化）、生活再建（支援対象世帯、コミュニティ再建率、災害公営住宅の入居状況、義援金の総額と配分）、ハードインフラの復旧（農地・農業施設、砂防堰堤、河川・道路）に関する精緻なデータを説明していただいた。 (2) 視察事項について 座学の説明では、豪雨災害発生時の詳細な記録を動画で見せていただいた。 山間部で9時間に774ミリの降雨を記録し記録的降雨と局地的集中の実態を確認した。土砂は約1000万流米、流木は21万流米が流出し、災害前は蛇行していた赤谷川が、災害直後の航空写真では直線的な流路へと変わり、河川は地形的に大きく変容した様子が確認できた。 被災者支援の対象は半壊以上の世帯を中心に1069世帯にのぼり、生活再建・被災者支援に多くの時間を必要とし、道路・橋・河川の復旧はほぼ100%完了。被害総額は1941億円に達したとの説明だった。 (3) 所感・市政に活かせること 平成29年以降に整備された多数の砂防事業・河川整備により、令和5年豪雨では人的被害ゼロを達成したとの説明があり、過去の教訓を生かした復旧が効果を発揮したと思われます。 また指定避難場所には、新たに広い駐車スペースや防災倉庫が併設されており、大型車両の進入や物資集積に耐える空間確保の重要性が強調されていたため、防災拠点の選定・設計には災害現場の経験値が不可欠であると感じた。
	
	
	

(視察先の写真等がある場合は添付)

実施日時	令和 8 年 3月 26日
視察場所及び 部局等	福岡県 朝倉市赤谷川
視察事項	九州北部豪雨災害の被害実態、復旧・復興について
報告 内 容	(1) 視察先概要 福岡県朝倉市で発生した九州北部豪雨では、市内各地の河川が氾濫し甚大な被害をもたらした。 その内でも、市内を流れる、赤谷川では元の河川の形を変えてしまうほどの災害となったため、その被害の爪痕と復旧の状況を現地で調査を行った。 (2) 視察事項について 実際に赤谷川の上部に移動し、北東方面に位置する山の形を目視で確認したが、いたるところで溪谷にあたる部分の土砂と木が流出しており、いまだに土がむき出しになっている事が確認できた。最大時間雨量124ミリ、ダム設置雨量計では時間雨量で160ミリ超を観測されていたが、数年経過後においても圧倒的な降雨量を記録していたことが分かった。 橋から下流域を確認したが、写真から見える下流域が地形的に大きく変容した部分である。元の河川の形を変えてしまうほどの雨量に耐えられるように、川の護岸をコンクリート壁で強化している事が確認できた。 (3) 所感・市政に活かせること 豪雨災害において、防災減災対策は重要であると考えるが、まずは人的被害を出さないよう、早期避難が重要であると考える。そのため、水位計を設置して河川の水量をリアルタイムで監視できるようにすることは、非常に有効であると感じました。 また、ハザードマップ等を日頃から確認を進めて、どこでどのような被害が発生するリスクが高いのかを、改めて点検しておく必要があると感じました。



(視察先の写真等がある場合は添付)

実施日時	令和 8 年 3 月 27 日
視察場所及び 部局等	東京都 国会議事堂
視察事項	井出庸生衆議院議員事務所および国会議事堂の視察
報 告 内 容	(1) 視察先概要 東京都千代田区永田町にある、衆議院会館を訪問し、長野3区選出の井出庸生衆議院議員の事務所にて、年度末を迎えた国会における直近の情報を交換した。地方議員としての役割と国会で地方の声をどのように反映していくかなど、率直に意見交換を行うことができた。その後、秘書の案内により国会議事堂の視察を行い、本施設のそれぞれの役割や建設に至るエピソードなどを説明していただいた。公務中ではあったが、井出衆議院議員と情報交換することができた。 (2) 視察事項について 建物には、沖縄産の化石を含む石灰岩など、日本各地の素材が使用されている。特に、中央階段に敷かれた「赤絨毯」は1メートルあたり5万5千円と非常に高価であり、建物の格式を象徴する要素となっている。石材の選定は、沖縄産の石が使われた理由として「崩れたら困る」という耐久性への配慮が挙げられており、建物の永続性に対する強い意識がうかがえる。国産品で全てを賄うという理想に対し、ステンドグラス、マスターキー付きドアノブ、郵便ポストという3つだけは、当時の日本の技術的限界から海外製(英国・米国)に頼らざるを得なかった。 (3) 所感・市政に活かせること 憲法改正、法律制定、予算議決の場である本会議場や委員会室で、実際の議論が行われる現場の雰囲気を感じることは、議会人としての意識向上に繋がると感じた。国会議員が「全国民の代表」としての責任を果たす姿勢に触れ、自身の地方議員としての役割や、住民代表としての責任を改めて意識する必要があると感じる貴重な機会となった。
	
	
	

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

会派名	さわやかな風の会
事業名	東御市議会定例会等会議録購入
実施日	
参加議員	長越修一 滝澤栄一 山崎康一 佐藤裕太

1 東御市における課題と研修・調査の目的

議場内における議案の採決に至るまでの経過や議論された内容等について、会派内議員の正確な情報共有を図るため、東御市議会定例会等の会議録を購入する。

2 経 費

使途項目	経費の内容と内訳		金 額 (円)
(該当項目に○)	市議会会議録購入代	3月定例会 会議録	1,968
	〃	6月定例会 会議録	1,314
	〃	9月定例会 会議録	1,374
調査研究費		12月定例会 会議録	1,359
研 修 費			
広 報 費			
広 聴 費			
要請・陳情活動費			
会 議 費			
資料作成費			
資料購入費			
人 件 費			
事 務 所 費			
合 計			6,015

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと